

墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査結果等から見られる現状と課題〔成人前本人アンケート〕 資料3

1 一緒に暮らしている家族 (問3)

- ・中学生(82.3%)、高校生(84.5%)、大学生等(74.2%)ともに「ふたり親世帯」が80%程度
- ・前回調査と比べると、大学生等において「母子世帯」が増加(5.1% 19.4%)

2 朝の起き方(問7、9)

- ・朝の起き方で「自分で起きることが多い」は、中学生、大学生等で50%を超えているものの、高校生においては30%弱
- ・高校生では、「ほとんど家の人に起こしてもらおう」が21.1%と、中学生、大学生等と比べて高く、前回調査と比べても増加(12.8% 21.1%)

3 食事のとり方(問8、9)

- ・中学生と高校生では朝食の欠食率は20%程度、大学生等では30%を超えている
- ・大学生等では「毎日食べている」が増加(56.4% 67.7%)
- ・朝食の欠食の理由は、中学生で「時間がない」が最も高く、前回調査と比べても増加(40.0% 52.9%)

12 墨田区子ども・子育て支援事業計画の見直しに向けて

子どもの最善の利益を優先します

- (1)子どもの豊かな育ちを育む場・機会の充実
- (2)子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境の整備
- (3)子どもの心とからだの健康づくりの促進

課題

- ・子どもの欠食率が高いことや体を動かすことが少なくなっているため、子どもの健やかな体の育成のためにも幼少期からの家庭における取組求められている
- ・子どもたちが友だちとの関係を作っていくことに課題を感じていることが見られるため、自尊心や他者への思いやりの気持ちを養う教育が求められている

4 現在の生活は楽しいか (問19、20)

- ・「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」を合わせた「楽しい」が中学生、高校生、大学生等ともに80%程度
- ・今、関心があることは、中学生、高校生、大学生等ともに「音楽」が最も高い

8 日頃の運動、放課後の過ごし方、友だちとの遊び方 (問11、12、13)

- ・日頃の運動を「ほとんどしない」が中学生、高校生、大学生等と年齢があがるほど増加、大学生等では、前回調査と比べても増加(33.3% 41.9%)
- ・月曜日から金曜日の放課後の過ごし方は、中学生、高校生では「学校にいる(部活動やクラブ活動)」が最も高く、大学生では「アルバイト・仕事をする」が最も高い、高校生と大学生等では、「友だちと遊ぶ・でかける」が減少(高校生:34.9% 25.4%、大学生等:59.0% 25.8%)
- ・大学生では、友だちと遊んだり、出かけたりするところとして「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」「ファミリーレストラン、ファーストフード」「繁華街」が大きく減少

保育の量的整備のみならず、保育の質を重視します

- (1)親と子の健康づくりの促進
- (2)子育て支援サービスの充実
- (3)認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育サービスの拡充と質の向上

未就学保護者アンケートにて

5 学校生活は楽しいか(問37)

- ・学校は楽しいかについては「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」を合わせた「楽しい」は中学生、高校生ともに80%以上
- ・高校生では「あまり楽しくない」は増加(5.8% 11.3%)

9 携帯電話・インターネット等(問14、16)

- ・「スマートフォン」を持っている回答は、中学生で66.4%、高校生で90.1%、大学生で87.1%と高い
- ・「携帯電話」については、中学生、高校生、大学生で、小学校からの利用開始が高いことから、「携帯電話」から「スマートフォン」への買い替えの状況がわかる
- ・使う機能については、中学生で「メール」が76.0%と最も高く、高校生、大学生等で「インターネット(SNSやWebページ閲覧など)」が90.0%と最も高くなっている

困難を抱えた子どもと家庭への支援体制を厚くします

- (1)ひとり親家庭等への支援
- (2)障害のある子どもの発達と成長支援
- (3)保護が必要な子どもとその家庭への支援
- (4)子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援

課題

- ・ひとり親家庭の増加による対応が必要

6 悩みや不安(問21、22)

- ・悩みや心配なことは、中学生、高校生、大学生等ともに「勉強」「将来や進路」が最も高い
- ・中学生では「自分の健康」が減少している一方で大学生等では増加
- ・悩みの相談相手として、大学生等では「友だち」と「母親」が高い一方で、前回調査に比べ「友だち」が大きく減少(82.1% 54.8%)

10 将来の仕事、将来の結婚・子ども等への期待(問24、25)

- ・将来の仕事に対する希望として、中学生、高校生、大学生等ともに「自分の能力に合った仕事」が最も高くなっている(中学生:74.2%、高校生:71.8%、大学生等:74.2%)
- ・結婚に対する期待として、大学生で「結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい」「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」で「そう思う」が増加

地域の子育て力及び連携を強化します

- (1)親同士のつながりと子育て力の育成
- (2)地域の子育て力の育成と協働
- (3)企業等の子育て力との協働
- (4)個々のニーズに即した子育て支援ネットワークの構築
- (5)子どもの安全・安心を守るための環境の整備

課題

- ・子育てに自信が持てないと感じる方に対する対策が急務

7 あなたの考え方や態度(問23)

- ・中学生では前回調査と比べ「自分のことが好きだ」「自分は人から必要とされている」で「そう思う」が増加
- ・高校生では前回調査と比べ「自分のことが好きだ」で「そう思う」が増加
- ・大学生等では「友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている」で「そう思う」が増加

11 墨田区に住みたいか(問32、33、34)

- ・大人になっても墨田区に住みたいかについては、中学生、高校生、大学生等ともに「どちらかというに住みたい」が最も高く、「住みたいと思う」については、高校生、大学生等で前回調査と比べると減少
- ・住みたいと思う理由は、中学生、高校生、大学生等で「墨田区に長く暮らしているから」が最も高い一方で、住みたいと思わない理由は、中学生、高校生で「他に住みたいまちがあるから」が最も高い

ワーク・ライフ・バランスを踏まえた支援を実施します

- (1)ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりの推進
- (2)子育てにやさしいまちづくりの推進
- (3)子育て家庭の視点に立った情報の発信

未就学保護者アンケートにて